

宮本工業グループ

ごあいさつ

私どもはプレカットのパイオニアとして時代と環境の変化に対応しつつ、全国ネットワークで事業を拡大、展開しています。

プレカットとは、木造住宅の軸組み部材を大工さんの要望どおりコンピュータに入力し、工場で規格にあわせて全自動加工し工事現場にお届けするという手法です。

創業者宮本光楠が製材業を始め、必死に先代宮本次朗に引き継ぎ、先代がいち早くプレカット事業に乗り出し全国展開し、また建設部門も立ち上げ現在に至ります。

創業当時、また先代が事業を引き継いだ当時と、現在の経営環境は大きく変わっています。我社は創業から現在まで様々な著しい環境の変化に対応し、事業を拡大して参りました。今後人口減少、少子高齢化によって、住宅着工戸数が大きく落ち込むことは間違いのない事実であり、避けられない状況であります。所謂、氷河期に突入して参ります。

私は創業者の作った会社を未来永劫存続させていく役割と、先代から受け継いだ、

【企業は人なり】【従業員は家族】

という理念を強く我社に根付かせる役割を担っております。

そして、創業時から現在まで我社に携わって頂いた全ての方々に対して、感謝の気持ちを忘れずに、今後における更なる著しい環境の変化に迅速に対応し、【守破離】の精神を持って会社を発展させ、社会に貢献できるように努めて参ります。

宮本工業グループ

代表 宮本哲治



プレカットを軸に“住”全てをプロデュース



本社社屋の構造は奇抜といえます。将来は美術館として利用できるようなアウトされており、建物の真ん中に木造のらせん階段が2方向から上下するようになっています。それが本社事務所、会議室へと続いています。なぜこうなったのかと言うと、もちろんエレベーターはつけてはいますが、高齢化社会を迎え、「足に負担をかけない階段を」と考えると「柔らかな木」というイメージになったからです。そして階段をらせんにし、中央にもってくることによって幾通りもの表情をもった空間の演出ができるからです。



このマークは、日本画の寺口画伯から宮本工業に贈呈された瀨峡流しの絵をヒントに制作されました。絵は川の中央に大きな岩が、その下に筏が流れている。「この岩のように強い企業であれということでしょう。筏は木材を業とする当社のこと」と受けとめています。社章の“M”は岩を、下の字は筏をイメージしています。

品質方針

2012年10月1日 宮本 哲治

「顧客満足」は勿論のこと「顧客満足・感動」を与えられる商品を作ることを最重要方針とする。この方針を達成するために次に示す商品を企画し、生産し、顧客に提供することを第一義と考えている。

1. 品質が優れ、顧客に使用するよこびと感動を感じさせる魅力的商品。
2. 環境に優しく、安全でしかも合理的で、顧客から信頼される商品。
3. 顧客に適切な価格で提供でき、なお適正な利潤を確保できる商品。

品質方針について次の事項を確実に行う。

当社の目的に対して適切である。 要求事項への適合及びQMSの有効性の継続的な改善を行う。 品質目標を設定し、目標を達成する事により事業活動に反映する。 全社員に周知徹底する。 適切性の持続のため「マネジメント・レビュー」でレビューする。

環境方針

2017年12月1日 宮本 哲治

宮本工業グループは創業以来、木の恩恵により発展を続けてきた企業として、木の素晴らしさと自然の大切さを十分に認識し、企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動することにより社会に貢献する。

1. 資源エネルギーの有効利用・・・事業活動の全ての領域で、資源及びエネルギーの効率的な利用、再利用並びに廃棄物の発生抑制に取り組む。
2. 環境関連法規の順守・・・環境関連の法律や規制、当社が同意した地域との協定取り決め事項を順守し、環境汚染の予防に努める。
3. 環境マネジメントの充実と改善・・・この環境方針に従い、事業活動にかかわる次の項目について環境目的、環境目標を設定し、必要に応じてレビューすることにより、環境パフォーマンスの向上及び継続的な改善をはかる。
 - (1) オフィス業務における環境負荷の低減
 - (2) 木材プレカット製造業務における環境負荷の低減
 - (3) 施工業務における環境負荷の低減
 - (4) 環境配慮活動への取組の推進
4. 環境保全意識の向上・・・環境教育活動を推進し、全社員及び当社を取り巻く関係者にこの環境方針の周知徹底をはかり環境保全の意識の向上に努める。
5. 環境方針の公表・・・この環境方針は外部からの要求に応じて公表する。

株式会社 宮本工業

会社概要

創 業： 1945年（昭和20年）
設 立： 1961年（昭和36年）
資 本 金： 4,750万円
代 表 者： 代表取締役社長 宮本哲治
売 上 高： 99億円
従 業 員： 134名
取引銀行： 紀陽銀行



業務内容

1. プレカット加工
2. 建設施工、リフォーム工事
3. 住宅用資材の販売
4. フレーム（建方）工事

プレカット加工とは

木造住宅の在来軸組工法である柱や梁の継ぎ手・仕口を、住宅設計図の情報をもとにコンピューターに入力し、全自動加工機により工場生産する方法です。私どもは日本で最初に、コンピューター会社、機械メーカーと共同開発して昭和60年から生産を始めました。

現在、在来軸組工法の戸建住宅で、プレカットは80%を超えるシェアとなっていると言われております。

プレカット加工の特徴

- コンピューターによる合理的な加工システム
- 加工工期の短縮によるコストダウン
- 現場での廃材の削減
- 大工さんの腕によるバラツキがない高度な加工精度



プレカット工場

和歌山本店（和歌山工場）



主要設備	
横架材ライン	2ライン
5軸加工機	ライン分岐
柱ライン	2ライン
羽柄加工機	3台
パネル加工機	3台

住所：和歌山市西浜 1660-50
TEL：073-441-0055
FAX：073-441-0005
二級建築士事務所登録
和歌山県知事
第(チ)137号

関東支店（千葉工場）



主要設備	
横架材ライン	1ライン
5軸加工機	ライン分岐
柱ライン	1ライン
羽柄加工機	3台
パネル加工機	2台

住所：千葉市美浜区新港 228-3
TEL：043-246-5725
FAX：043-246-1752

東北支店（仙台工場）



主要設備	
横架材ライン	1ライン
5軸加工機	ライン分岐
柱ライン	1ライン
羽柄加工機	3台
パネル加工機	1台

住所：宮城県名取市植松 43
TEL：022-382-3934
FAX：022-382-4033

建設部

建設・建築・リフォームへの展開

私たちは、プレカットを軸に建設、建築、リフォームに取り組んでおります。木造住宅から商業施設まで、それぞれのニーズに合わせた「住」空間を演出し、よりよい快適空間づくりを約束します。豊かなバリエーションで、お客様が満足していく内容を展開し、ご要望にお答えしていきます。



住所：和歌山市西浜 1660-50
TEL：073-441-0033
FAX：073-441-0003

特定建設業の認可
認可番号 和歌山県知事 許可
(特-30) 第17039号

日本プレカットシステム株式会社

日本プレカットシステム株式会社は、プレカットのパイオニアである株式会社 宮本工業のノウハウを生かし、プレカット製品の受注を主とした事業展開を行っています。

会社概要

設立： 1995年（平成7年）2月1日
資本金： 9,800万円
株主： 株式会社宮本工業 100%
代表者： 代表取締役会長 宮本哲治
代表取締役社長 森 彰宏
代表取締役副社長 鈴木教亮
売上高： 134億円
従業員： 18名
取引銀行： 紀陽銀行



業務内容

1. プレカット製品の請負・販売
2. 建設資材の販売

ハウスメーカー・工務店の皆様へ

- 住宅の構造的強化及び品質の均一化をめざしましょう。
- 職人不足の解消及び工期の短縮をめざしましょう。

プレカット加工のメリットは

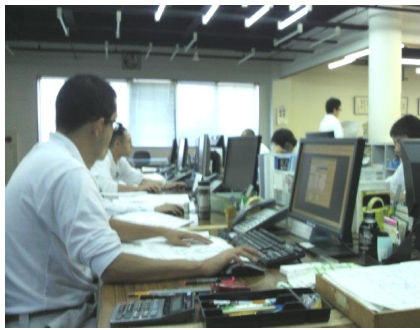
- 加工精度の向上
- 耐震性等住宅性能アップ
- 加工工期の大幅な短縮
- 熟練大工技術者不足に対応
- 建築現場での残材発生防止

プレカット製品とは

- 構造材プレカット（柱・梁等）
- 羽柄材プレカット（垂木・筋違・間柱・窓台・破風等）
- パネルプレカット（野地パネル・床パネル）

お客様のニーズに合わせた打ち合わせと、製造部門である株式会社 宮本工業との綿密なコミュニケーションにより信頼される商品を提供いたします。

関西支店



近畿2府4県から四国まで営業マンが親切に対応いたします。

住所：和歌山市西浜 1660

TEL：073-441-0011

FAX：073-441-0005

関東支店



最新のCAD・CAMシステムと経験豊かなノウハウで関東一円に対応いたします。

住所：千葉市美浜区新港 228-3

TEL：043-246-3557

FAX：043-246-1752

東北支店



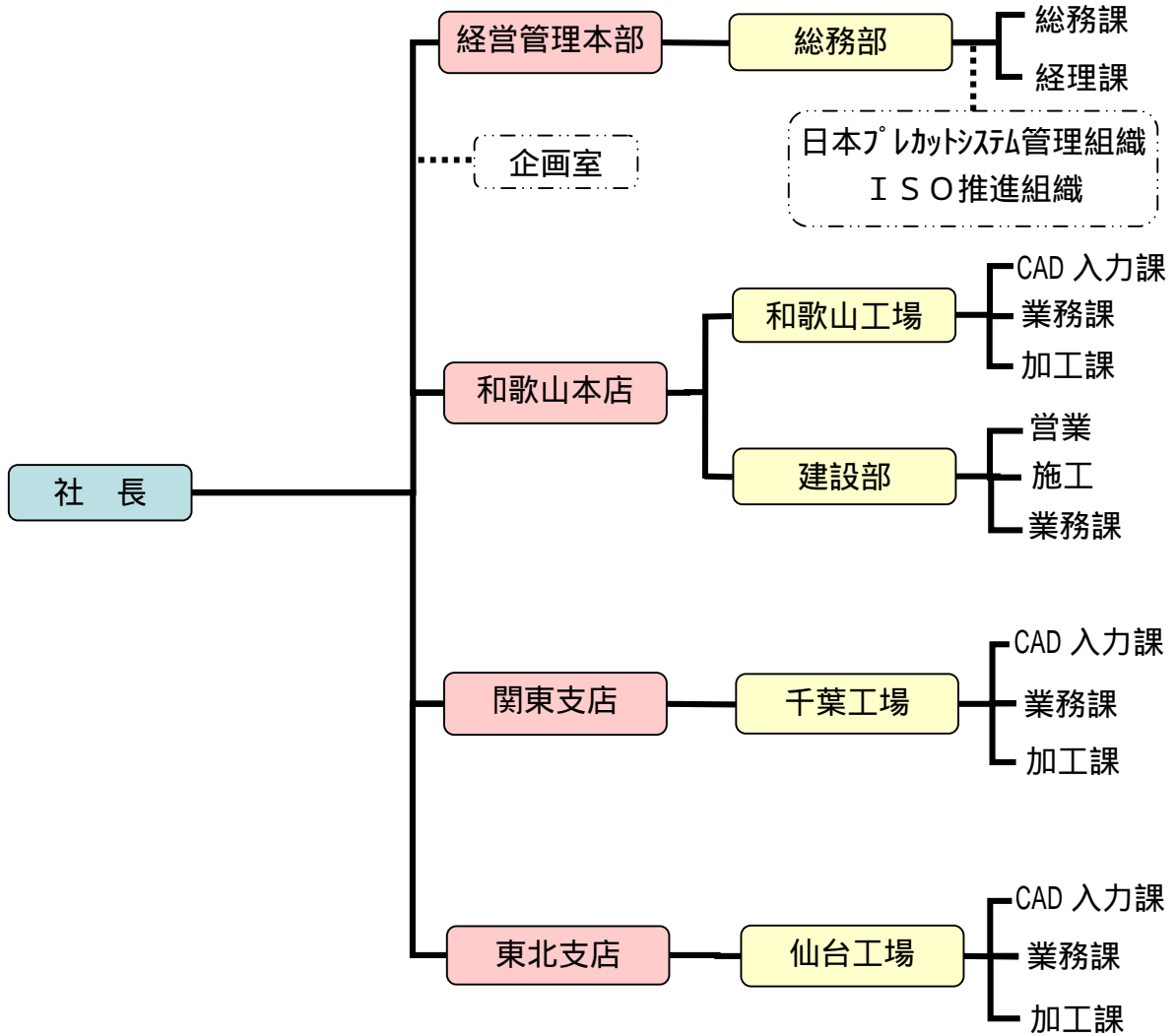
東北はもちろん北関東迄お客様の注文に応じ迅速に対応致します。

住所：宮城県名取市植松 43 番地

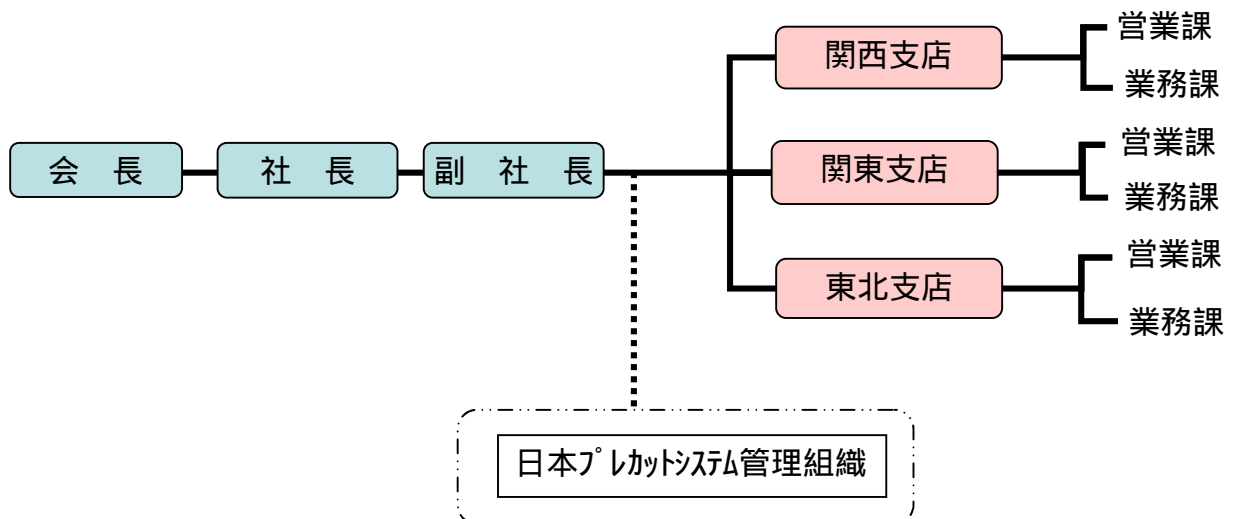
TEL：022-382-4523

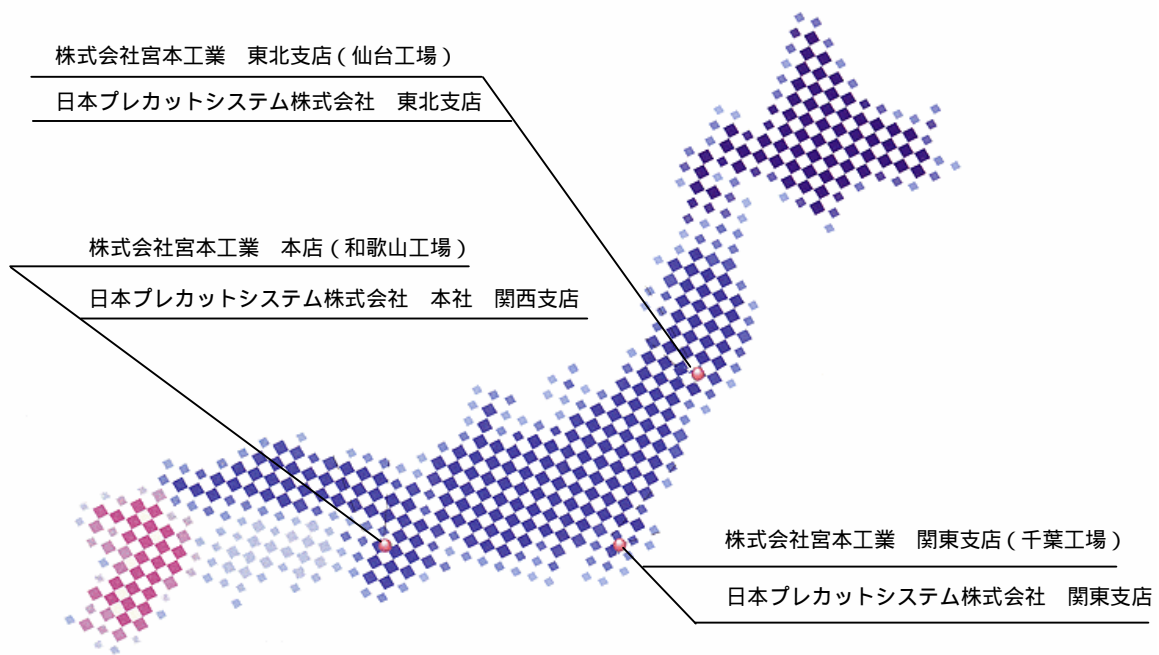
FAX：022-382-4033

株式会社 宮本工業 組織図



日本プレカットシステム 株式会社 組織図





沿革

昭和 20 年	1945	12 月	● 宮本光楠、和歌山市中之島で賃挽き製材業を始める
21 年	1946	6 月	● 和歌山市寄合町 18 番地に宮本製材所を新設
30 年	1955	5 月	● 宮本製材株式会社に社名変更、社長に宮本光楠就任
36 年	1961	4 月	● 和歌山市寄合町 18 番地に宮本木材工業株式会社新設、社長に宮本光楠就任
		11 月	● 宮本木材工業株式会社が和歌山市北島 344 番地に、外材専門のオートメーション製材工場新設、稼働開始及び本社を同所へ移転
44 年	1969	4 月	● 宮本製材株式会社は宮本興産株式会社に社名変更し倉庫業を開始
46 年	1971	7 月	● 宮本木材工業株式会社の工場及び本社を和歌山市西浜 1660 番地の 50 に移転、全国初の冷暖房付完全 2 シフト製材工場として稼働
50 年	1975	7 月	● 宮本木材工業株式会社、社長に宮本次朗就任
			● 宮本興産株式会社、社長に宮本堯夫就任
55 年	1980	6 月	● 千葉市美浜区新港 228 番地の 3 に千葉営業所と製材品再割工場を新設
60 年	1985	10 月	● 千葉市同所に全国初の CAD / CAM システム全自動プレカット工場を新設
63 年	1988	6 月	● 宮本木材工業株式会社を株式会社宮本工業に社名変更
		7 月	● 和歌山市西浜 1660 番地の 50 に同全自動プレカット工場新設
平成 2 年	1990	12 月	● 宮城県名取市植松 43 番地に同全自動プレカット工場新設
3 年	1991	4 月	● 和歌山本社に建設部新設
5 年	1993	4 月	● 和歌山本社新社屋竣工
7 年	1995	2 月	● 和歌山市西浜 1660 番地に日本プレカットシステム株式会社新設、社長に宮本次朗就任、千葉市美浜区新港 228 番地の 3、名取市植松 43 番地に支店設置
11 年	1999	10 月	● ISO9002 認証取得
12 年	2000	7 月	● ISO9001 に拡大認証取得
13 年	2001	5 月	● ISO14001 認証取得
17 年	2005	10 月	● 日本プレカットシステム株式会社、社長に武田逸夫就任
19 年	2007	2 月	● 株式会社宮本工業本店が二級建築士事務所登録
19 年	2007	10 月	● 株式会社宮本工業本店及び東北支店が SGEC (緑の循環) 認定を受ける
24 年	2012	10 月	● 株式会社宮本工業、社長に宮本哲治就任
25 年	2013	10 月	● 日本プレカットシステム株式会社、社長に森彰宏就任